

正

宅地造成に関する工事の許可申請書

宅地造成等規制法第8条第1項本文の規定による許可を申請します。

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

尾道市長様

〇〇〇〇株式会社

申請者 氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

申請書の提出日として
ください。

ここには住所を記入し
ないでください。

住民票及び商業登記簿
謄本に記載されている
内容を正確に記入して
ください。

設計者の住所、会社
名、名前を正確に記入
してください。

建設業の登録証と記載
内容を正確に記入して
ください。

1 造成主住所氏名	尾道市久保一丁目〇〇番〇号 〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇				
2 設計者住所氏名	尾道市久保一丁目〇番〇号 △△設計株式会社 △△ △△				
3 工事施行者住所氏名	尾道市〇〇二丁目〇〇番〇〇号 〇〇〇〇建設株式会社 代表取締役 〇〇 □□				
4 宅地の所在及び地番	尾道市 〇〇町□□1234番5、1234番9の一部				
5 宅地	申請区域のすべての地番を登記簿謄本に記載 されている内容に合わせて正確に記入してく ださい。 一部申請の場合は一部と記入してください。	4, 3 2 1. 0 9	平方メートル		
		7 4 1. 2 5	平方メートル		
6 工事の概要	イ 切土又は盛土の土量	切土	8 5 2. 1 4	立方メートル	
		盛土	9 6. 8 5	立方メートル	
	ハ 擁壁	番号	構造	高さ	延長
		1	積ブロック	1. 0 m ~ 2. 5 m	2 5. 0 m
		2	重力擁壁	3. 5 m	7. 8 m
		3	逆T型擁壁	5. 0 m	1 2. 3 m
	ニ 排水施設	番号	種類	内法寸法	延長
		1	U字フリューム	3 0 c m	2 5. 0 m
		2	塩化ビニール管	1 5 c m	5. 5 m
		3	現場打三面水路	4 0 c m	1 2. 3 m
ホ 崖面の保護の方法	張芝工及び種子吹付				
工事中の危害防止のための措置	土砂流出防止のため、仮設沈砂池を設け、また人の出入りが予想される個所には、見張り人を置いて関係者以外の立入りを禁止する。				
その他の措置	異常降雨時の災害を防止するため、巡視員を置き、防災器具等の準備を万全にしておく。				
チ 工事着手予定年月日	許可取得後〇〇日以内				
リ 工事完了予定年月日	工事着手後〇〇日以内				
ヌ 工程の概要	防災工→準備工→盛土→擁壁工→水路工→整地工				
7 その他必要な事項	道路改築申請中				

全て記入できない場合は、別紙に記入してください。

宅地造成等規制法以外の法により許可を必要とするもので、許可を取得しているものを記入してください。他法令でも許可以外は記入不要です。
例：埋蔵文化財協議、官民境界協議等

申請書の数字の記入は次のとおりとしてください。
面積に関することは、小数点以下第2位まで記入してください。（第3位以下を切捨て）
また、その他の数字については、小数点第1位まで記入してください。（第2位以下を切捨て）

※許可に当	第	号
	係員氏名	

副

宅地造成に関する工事の許可通知書

※ 許 可 通 知 欄	この申請書及び添付図書に記載の宅地造成に関する工事については、下記の条件を付して許可しましたので通知します。				
	許可番号	指令第	号		
		年	月	日	
				尾道市長	
				(印)	
条 件	許可条件及び注意事項別紙のとおり				
1 造成主住所氏名	尾道市久保一丁目〇〇番〇号 〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇				
2 設計者住所氏名	尾道市久保一丁目〇番〇号 △△設計株式会社 △△ △△				
3 工事施行者住所氏名	尾道市〇〇二丁目〇〇番〇〇号 〇〇〇〇建設株式会社 代表取締役 〇〇 □□				
4 宅地の所在及び地番	尾道市 〇〇町□□1234番5、1234番9の一部				
5 宅地の面積	4,321.09 平方メートル				
6 工 事 の 概 要	イ 切土又は盛土をする土地の面積	741.25 平方メートル			
	ロ 切土又は盛土の土量	切土	852.14	立方メートル	
		盛土	96.85	立方メートル	
	ハ 擁 壁	番 号	構 造	高 さ	延 長
		1	積ブロック	1.0m～2.5m	25.0m
		2	重力擁壁	3.5m	7.8m
		3	逆T型擁壁	5.0m	12.3m
	ニ 排 水 施 設	番 号	構 造	内法寸法	延 長
		1	U字フリューム	30cm	25.0m
		2	塩化ビニール管	15cm	5.5m
		3	現場打三面水路	40cm	12.3m
	ホ 崖面の保護の方法	張芝工及び種子吹付			
ヘ 工事中の危害防止のための措置	土砂流出防止のため、仮設沈砂池を設け、また人の出入りが予想される個所には、見張り人を置いて関係者以外の立入りを禁止する。				
ト その他の措置	異常降雨時の災害を防止するため、巡視員を置き、防災器具等の準備を万全にしておく。				
チ 工事着手予定年月日	許可取得後〇〇日以内				
リ 工事完了予定年月日	工事着手後〇〇日以内				
ヌ 工程の概要	防災工→準備工→盛土→擁壁工→水路工→整地工				
7 その他必要な事項	(注意) 1 本申請に係る宅地造成に関する工事が都市計画法（昭和43年法律第100号）第29条第1項又は第2項の開発許可を要するものである場合には、開発許可を受けることにより宅地造成等規制法第8条第1項本文の許可は不要となります。 2 ※印のある欄は記入しないでください。 3 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含む場合には、〇印を付し、かつ、資格を有することを証明するに足る資料を本申請書に添付してください。 4 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。 5 7欄は、宅地造成に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。 6 申請者、造成主、設計者又は工事施行者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。				